山寺ふるさと便り　＝第６号＝

宝珠のしずく

題字　後藤仁田（性相院）

発行所　山寺公民館　〒999-3301 山形市山寺517-1 TEL 023-695-2001 FAX 023-695-2164
発行者　山寺地区振興会
編　集　宝珠のしずく編集委員会

心はひとつ　咲かせよう　みんなの花

山寺小学校一年生から中学校三年生の全員（百五十一名）が力を合わせて、ベニヤ板四枚分のちぎり絵を創作した。ちぎり絵は下絵をもとに三十二区画に分けられ、児童・生徒の縦割りグループで和紙を貼り付けていった。各グループが作った部分を一つにまとめ、ちぎり絵が完成すると「わあーっ」と歓声がおこった。

作品は、山寺の四季を表し、立谷川を中心に、春は桜と山王祭、夏は芭蕉と曽良、秋は紅葉とコスモス、冬は雪化粧の面白山と、細部にまで工夫が凝らされている。

児童・生徒の声

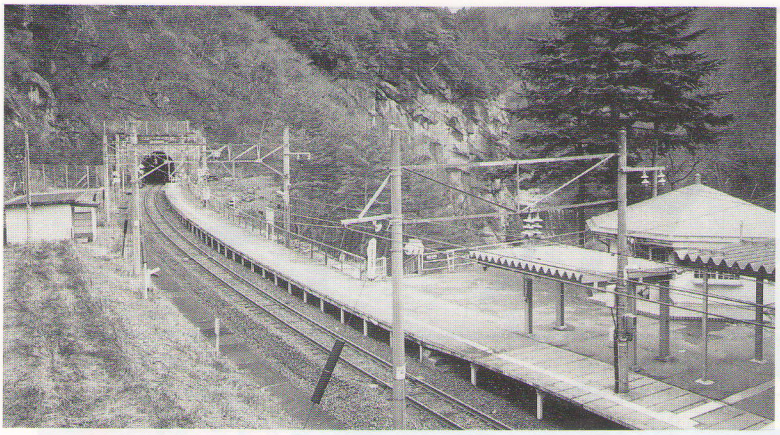
○おにいさん、おねえさんと、紙をやぶいて貼ってとてもたのしかった。またやりたいです。（小一）

○力を合わせると、一つの大きな物ができると実感しました。苦労したところは花の葉や茎の部分とみこしをかついでいる人の所でした。（小六）

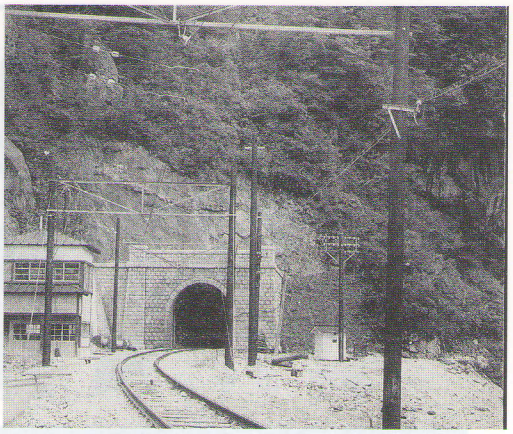
○小学校の低学年で話したこともなかった子と仲良くでき、あっという間に時間が過ぎました。（中一）

○みんながなごやかな雰囲気の中でちぎり絵ができた。完成した時、胸がジーンと熱くなった。（中三）

☆作品は風雅の国、サニーヒル山寺、公民館と、巡回して展示される。



▲面白山高原駅



▲面白山信号所（開通当時）

満喫

昭和八年頃、当時の国有鉄道が仙山線開設に伴い、面白山トンネルの掘削工事を始めた。昭和十二年にトンネル工事終了、十月に開通となった。全長五三六一メートル全国第三位だった。山形・仙台間の距離を二時間十分に短縮し北日本交通史上に画期的発展をもたらした。(現在は約一時間)

その頃、当時の国鉄が、そこに働く職員の福利厚生施設の一つとして今のセントラルゲレンデの一部を利用し、国鉄山小屋を作ったのがスキー場の発祥となっている。

▲雷神滝

コスモスベルグは二十二年前に、スキー場をシーズンオフの時に何か利用できないだろうかと考え、斜面にコスモスを植えようと山形市と面白山観光協議会が共同ではじめた。

約七ヘクタールの花畑に、紅白のセンセーションを中心に八種類ほど、約百万本の花が植えられ、八月下旬から十月いっぱい楽しむことができる。県内はもちろん全国からも多くの観光客が訪れる。

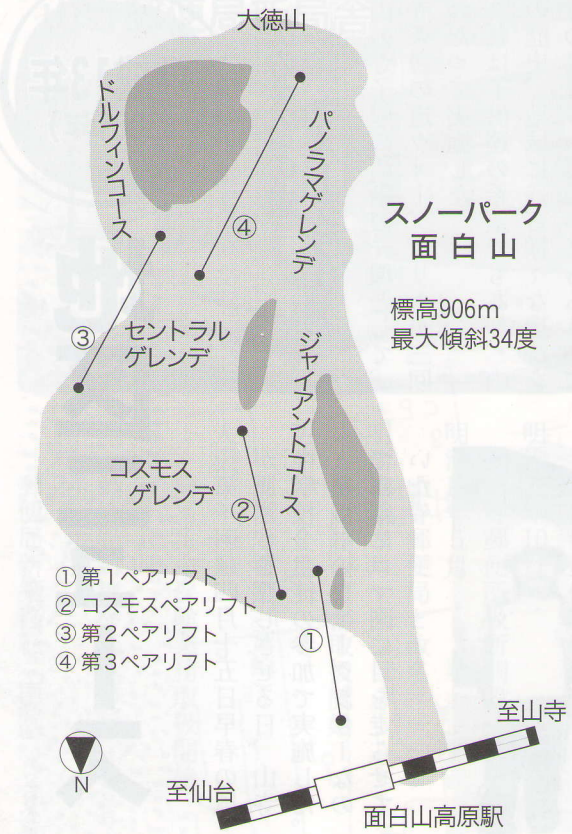
コスモスはとても育てやすい花だが、大雨や台風などの天候が大敵である。

どうぞ、家族や友達、カップルでコスモスに酔いしれて下さい。

紅葉川渓谷

自然を面白山

紅葉川は面白山近辺の支流を集め立谷川に合流するまでの本流である。渓谷には数多くの滝や淵が有り、春の新緑から、秋の紅葉まで自然の醍醐味を満喫できる。



スノーパーク面白山

〝駅から零分、目の前がゲレンデ〟のキャッチフレーズで初級から上級まで楽しむことのできるスノーパーク面白山。

ゲレンデは延長約千五百メートル、高低差約二百メートルからなる中規模のスキー場。

昭和三十九年に本格的に運営が始まり、現在ペアリフト四基を設備している。近年周辺にスキー場が増えた事やスキー離れなど、来場者数が減少しているので、関係者はいろいろな改善策を模索中である。

▲全国大会出場を決めた村形 歩くん(山寺中3年)

谺(こだま) 宝珠のしずくに寄せて

宝珠のしずく第五号、興味深く読ませていただきました。山寺地区の動きが写真とともに紹介され、うまくまとめられているのに感心させられました。

表紙の子どもたちの清掃奉仕、みんなの美しい心がにじみ出ているようで心暖まる様です。朝夕のあいさつが上手だとの話も聞きます。観光客からほめられたとのニュースもありました。嬉しい限りです。

そのほか磐司のお話、地区の出来事の全体が一つの画面に映し出されているようで、苦心の跡がしのばれます。発展を祈ります。

佐藤久太

平成五年四月から四年間、山寺公民館に勤めさせていただきました。就任早々、天皇皇后両陛下行幸啓記念碑建立、地区・町内の組織、地区負担金見直しの提案など、山寺の発展に地区の皆様と共に歩むことができ、忘れられない思い出であります。「宝珠のしずく」もまちづくりの一環として、平成八年度に伊澤公民館長を中心に資料収集され、編集、創刊されました。山寺の事を知る貴重な地区便りで創刊以来、味わって読ませていただいております。

今後の「まちづくり推進プラン」の振興をご期待申し上げます。

武田秀男

平成13年（2001年）

地区ニュース

山寺天台の道　ウォークラリー

山の寺子屋の活動の一環として、山寺天台の道ウォークラリーを三回にわたって実施した。

これは子供達の希望でもあり、山寺の歴史、地域に残る様々な遺跡を自分の足で歩いて知ってもらう為に行われた。小中学生、その父兄、一般の方々に参加して頂き大盛会に終えることが出来た。初めての行事だった為係員も一生懸命であった。

▲皆さん　がんばって歩いて下さい。

第一回は四月十五日早春の風が肌寒さを感じさせる日、山寺中学校全生徒の参加で実施した。初めてのウォークラリーなので真剣にコマ図に目を走らせていた。

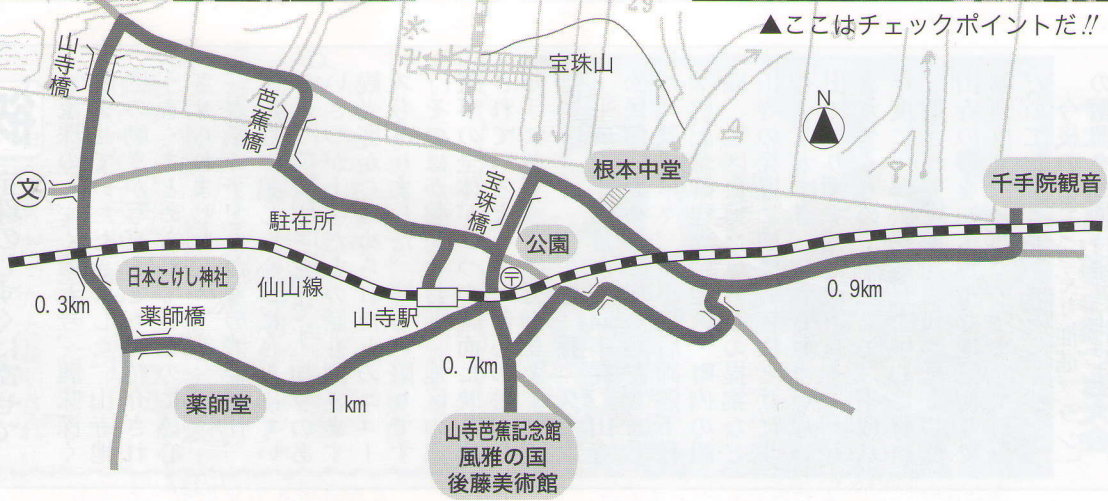
▲次はどこに行くのかな？

第二回は五月十二日快晴の空の下、山寺小学校一・二年生とその父兄、学校の先生方に参加して頂いた。山寺に嫁いで来られたお母さん方、今春山寺小学校に赴任された先生方にも山寺の良さを感じていただいた。

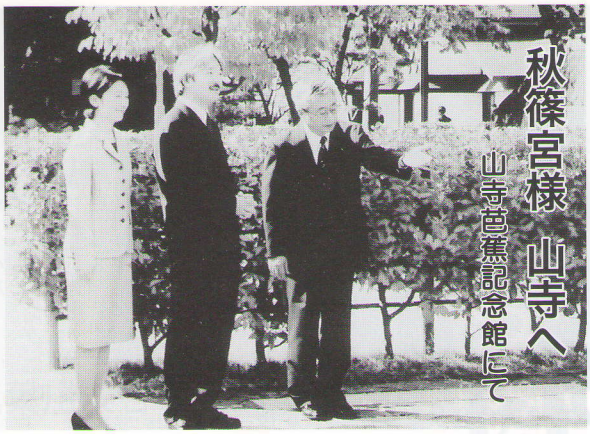
▶やったぁ　ゴールだ!!

第三回は六月十日いまにも泣き出しそうな空模様の下、さくらんぼ収穫の最盛期を迎えていた。山形市街から参加された中には、たわわに実ったさくらんぼに目をうばわれている人も多かった。

▲ここはチェックポイントだ!!



山寺郵便局新局舎



秋篠宮様 山寺へ

山寺芭蕉記念館にて

消防自動車 配備

昨年十一月に第二十分団第一部第一班の中地蔵ポンプ車車庫に可搬ポンプ積載車が配備された。

●山寺郵便局の沿革

明治5年10月　山寺郵便所扱所開設　書状葉書
明治19年5月　山寺郵便局と改名
明治19年8月　郵便貯金業務取扱開始
明治37年8月　郵便局新築（宮崎）
大正5年10月　簡易生命保険業務取扱開始
昭和37年6月　郵便局新築移転（南院）4285−5
平成14年1月　郵便局新築移転（南院）4294−8

山形市花壇コンクール　最優秀賞

山寺地区振興会・地蔵堂花壇愛好会

▲美しい花は土作りから。

夜行念佛　市の無形文化財指定

山寺夜行念佛が山形市無形文化財の指定書を受けた。

山寺地区文化祭

はじめてのフリーマーケット

▲目移りしちゃうかな。

▲生徒手作りの芋煮で交流会

PTA研修大会

〝今　教育が変わる。ともに歩もう教育新時代パートⅡ。家庭・学校・地域とともに手を携えて〟
＝山形市ＰＴＡ連合会研修大会＝

昨年七月八日(日)に山形国際交流プラザ（ビッグウィング）に於いて、第四十四回山形市ＰＴＡ連合会研修大会が山寺小中学校ＰＴＡ主管で開催された。参加者は総勢千五百名。

準備はＰＴＡ実行委員会を中心に一年前から始まり、会議は二十数回、山寺小中らしい特色を演出しようと時には夜遅くまで及んだ。

大会当日は、オープニングに山寺中学校生徒による磐司太鼓が披露され、伝統と文化を受け継ぐ山寺らしい雰囲気の中で参加者を迎えた。

山寺の数少ないＰＴＡ全員の力の結集で、大会は大成功に終える事が出来、各方面から多くの賞賛の声が聞かれた。

▲板垣連合会長より感謝状が授与される。

▲山寺中同窓会より寄贈されたはっぴ

山寺の小中学校を語る大会

昨年八月十五日に山寺中学校同窓会による「山寺の小中学校を語る大会」が、地区振興会、小中学校の後援を得て、盛大に開催された。

大会は現在山寺地区の児童数が激減し、来年度の小学校入学者が四名という現状を踏まえ、郷土を愛し二十一世紀を担う子ども達の幸せ、山寺地区の発展への光明をもたらしたいという趣旨で計画された。

講演会に、木村康二先生（元山寺小中学校校長）をお招きし、山寺への熱い思いを語っていただいた。

山寺地区に子ども一一〇番設置

平成十三年八月二十日、山寺地区町内二十二箇所に、「子ども一一〇番」が設置された。子供達の安全を守る為、小中学校、同ＰＴＡ、そして山寺地区振興会の熱意により、地区民の協力を得て設置された。

中学生もお手伝い　サニーヒル山寺の餅つき大会

ミニ情報　耳よりな話

○山寺地区の街灯が20Wから36Wに取り替えられ明るくなる。特に通学路を中心に増設される。

○山寺天台の道の見所、峯の裏(千手院垂水不動尊附近)の案内標識が新しくなった。山形市、山寺地区振興会、山寺観光協会その他の方々がボランティアで。

○去年まで所部山で炭焼きをしていた後藤秋男さんは炭焼きをやめたとの事、もしかすると最後の人になるかも。

○第四十七代㈳山形青年会議所理事長に遠藤正明氏が選出された。おめでとうございます。

○つい最近、石倉山で猪の牡一頭を獲って四人で運んできた。山寺では七年程前から猪らしい芋荒しのうわさがあったが、これでほんとうだったと証明された。

山寺の文化財⑥ 聖徳太子立像

（縦96cm 横43cm）
増子奇峰 画

所部坂の上に太子堂がある。佛教の守護・布教に盡力された聖徳太子をお祀りしているが、その祀堂のために画かれたと思われる画像が増子弥平治（現市三郎氏）宅に保存されている。

千手院観音に奉納されている「楠公父子の別れ」は奇峯の画を松亭画伯が補修したものである。

増子奇峰は天保元年生れ、弥平治の次男で幼名は梅次郎、山形の霞峯に師事し画道に精進する傍ら、寺子屋の師匠として子弟の育成に励んだ。惜しくも病に倒れ三十三才で世を去った。彼は分家して独立、増子孝太郎氏の祖先である。

なお、太子の縁日は毎月二十二日般若心経などの読経がある。

おらが地区 芦沢

芦沢という地名は立石寺の支院とされる「芦沢院」があったからだと言われている。

現在のような家屋の配置は比較的新しく、最上義光の時代以後であろう。と言うのは義光の下臣本間作右エ門が立石寺の世話役として山寺に赴任し、居を今の薬師堂のある高台に構えた事から、その家来衆が現在地に住むようになったからである。

芦沢地区の事を「宿（すく）」とも言うがそれは街道の検問所や休憩所、宿屋などがあった事からきている。

芦沢地区民の守護佛、薬師如来のお堂は、伊沢三治氏宅の南にあった。そこは山寺宝珠山を望み、外敵の襲来がいち早く見える所だったので、作右エ門はお堂を山手に移し、この地を館に選んだのであった。

さて、以上の様に山寺では、中心とも言える芦沢であり、人の心も穏やかという評判で、明治時代の小学校に勤務された伊藤友信先生の「山寺風土略記」記録されている。

この芦沢に山寺小中学校が移築され（昭和62年）朝夕、子どもたちの明るい挨拶の声がひびき、学習にスポーツにはげんでいる姿を見てみんなで応援している。

おめでとう 金婚さん

矢萩さんご夫妻（中地蔵）

大粒の牡丹雪の舞う夜、矢萩さん宅を訪れました。夫の久次さんは石工職人で、妻のシズヤさんは昭和二十六年十一月六日に荻の戸から嫁いで来られました。若い時は子供を背負いながら畑仕事に励み、男の子三人を育てられました。畑仕事の休める学校の参観日が楽しみだったと言います。お姑さんを十年間も看病され、十三年前には夫の久次さんが病に倒れたが回復され、現在は長男夫婦と孫に囲まれた幸せな日々を過ごされています。お正月には子供さん達による金婚祝を天童で行ってもらう事になっているとのことです。

矢萩　久　次さん
シズヤさん　ご夫妻

お誕生おめでとう

〈千手院〉
・後藤和則氏長女　唯花さん
・後藤裕一氏三男　智裕さん
・後藤藤生氏長女　優果さん

〈所　部〉
・武田英樹氏長女　悠里さん
・武田敏範氏次女　茜　さん

〈川原町〉
・相田英順氏次女　真実さん

〈南　院〉
・遠藤英典氏長女　愛果さん

〈地蔵堂〉
・武田千晶氏長男　瑞樹さん

智裕ちゃん

平成十三年お誕生

真実ちゃん

すこやかな成長を!!

話題の人

遠藤正治さん（南院）（大正元年十二月十五日生）

卒寿を迎えられて

人格円満で、山寺地区老人クラブ連合会長を十二年間務められた。

まだまだ現役で皇壽まで大丈夫だと言えば、百歳以上生きるんだと。今回も西国巡礼に行かれると、言う。

昭和二十二年、山形県庁にて民生部世話課に勤務され、昭和四十五年退職まで、多くの方を世話された。昭和四十七年、川原町南院の部落総代となり、また地区総代会長も兼られ、五十六年まで務められた。

その間、昭和二十二年に観世流俊謡会に入会、五十年間斯道の奨励に盡し、平成二年緑鳳会（謡）の会長、又、近衛歩兵（近二会）の山形県支部長でみある。

祈る健康と長寿。

叙勲・受賞・表彰

（敬称略）

勲六等瑞宝賞（農工業統計調査）
遠藤弥右衛門

山形市老人クラブ連合会表彰
布施　正
小笠原健一
後藤マサ

八〇二〇達成者　優良（健康な歯コンクール）
成山菊松

山寺地区振興会感謝状
地蔵堂花壇愛好会

関係諸団体
民生児童委員会会長　武田久之進
交通安全協会支部長　小野匡義
消防団分団長　遠藤和彦
観光協会会長　佐藤恒男
福祉協力員連絡会代表　田中文子
老人クラブ連合会長　遠藤正治
青少年健全育成連絡協議会長
武田久之進

平成十三年度～十四年度 山寺地区振興会役員

（敬称略）

振興会会長・教育後援　武田俊昭
副・社会福祉担当　増子敬一郎
副・教育文化・体育　新関孝夫
○開発促進担当　布施佐利
同・副　会計　布施良政
○社会福祉副・会計　布施栄義
○保健・衛生担当　海谷好雄
同・副　安藤利雄
○防犯防災担当　東海林修一
同・副　菅野貞治
○教育文化・体育副　後藤成雄
○監事・教育後援　後藤安之助
監事　矢萩雅之

平成十三年の物故者 謹んでお悔やみ申し上げます

〈千手院〉
・後藤　春雄殿・後藤　せん殿
・後藤マツヨ殿・後藤源三郎殿
〈所　部〉
・伊藤　さゑ殿
〈馬　形〉
・今田　吉郎殿
〈南　院〉
・矢萩　くま殿・武田りゅう殿
・大嶋　尚友殿・佐藤　文吉殿
〈芦　沢〉
・堀川　いと殿・原田　半六殿
・山田政一郎殿・山田　國男殿
・堀川　孫八殿
〈宮　崎〉
・布施　佐吉殿
〈地蔵堂〉
・矢萩チエ子殿
〈中地蔵〉
・遠藤かねよ殿・伊藤清四郎殿

出場おめでとう（全国大会）

○全国中学校スキー大会
山寺中　三年　村形　歩
○全国中学校卓球カデット大会
山寺中　一年　遠藤佳祐
〃　〃　遠藤真奈美
○全国卓球ホープス大会
山寺小　五年　遠藤柊子

編集後記

愛子内親王様、ご誕生おめでとうございます。

仙山線の愛子（あやし）駅では、二十日間で約八四、四〇〇枚の切符販売を記録し、今度はオレンジカードを発売したそうです。

「立谷川の清流も始めはほんの一滴のしずくが重なり合って、水となり流れとなったように、この〝宝珠のしずく〟も未来へのステップとしていきたい」という創刊号での在り方が、皆様のご協力によりここまできました。

第六号をお届け致します。今後共多くの方々のご声援よろしくお願い致します。

尚、ご感想等ありましたらどうぞ公民館宛お寄せ下さい。

編集委員
後藤哲夫・伊澤貞一・武田俊昭
武田　誠・遠藤まき子

毎年発行予定・保存しておきましょう